

行ってこーわい 会ってこーわい

「出森貞子バレエルーム」

手作りの衣装で
子どもたちの夢を応援

No. 44



週に1度、松前総合文化センターのリハーサル室には、バレリーナを夢見る子どもたちが集います。「出森貞子バレエルーム」です。未就学児から小学6年生まで、現在15人の子どもたちが、レッスンを受けています。

「厳しいレッスンじゃなく、夢を叶えてあげようというバレエルームなんです」と話す出森さんの言葉通り、子どもたちは出森さんの共に楽しむような指導で、生き生きと踊っていました。そんな風に夢と希望を膨らませながら頑張る子どもたちの一番の楽しみは、発表会。おそろいのかわいいバレエチュチュの衣装を着て、一生懸命表現します。その衣装は全て出森さんの手作りだというから驚きです。

出森さんは、「子どもたちは発表会を心待ちにしてレッスンを頑張ります。だから『頑張ろうね』『頑張ったね』という思いを込めて、希望をできる限り取り入れた衣装を作っています」とにっこり。子どもたちはそんな出森さんの思いを背に、未来のバレリーナ目指してこれからもレッスンを重ねていきます。



1. ジュニアクラス (小1～3年) のレッスン
2. リトルクラス (未就学児) のレッスン

▼編集後記

「自転車ライフを満喫している人を取材したいな」とまをぐるぐる。そこで出会った水口フジエさん。フジエさんの自転車ライフを、優しく丁寧につこり笑顔で教えてくれました。「もっかい自転車乗るか？」のフジエさんの声に「えっ! (いいのですか)」と答えるそばからすでに自転車に乗って笑顔でスイスイ。思わずこちらもにっこり。広報の特権、たくさんのお出合いに感謝です。
(高橋)

Proud! Japan

自転車から原付、そして自動車へ。成長とともに行動範囲が広がり、乗り物も変わっていききました。確かに遠くには行けるけれど、移動中、渋滞でイライラしたりしていませんか? 確かに速く行けるけれど、景色をゆっくり楽しんだりできていますか? もうすぐGW。もっと速くに、もっと速く「もっかいですが、もっかと近くで、もっとのんびりと」サイクリングを楽しんでみるのもいいかもしれませんね。(松田)

命の鍵を握っているのはシロアリです。

地震の際、シロアリ被害を受けた建物は倒壊の危険が増し、人命が失われる恐れがあります。



友清白蟻 ☎(089)978-2630

ひまわりバスに乗りませんか?

暖くなり、絶好の散歩日和になってきました。町内には、ひよこたん池をはじめとする自然公園がいくつもあります。海を見ることもできます。そんな松前町を散歩してみたいと思った人にはひまわりバスがお勧めです。100円で町内の主要箇所を回ることができるコミュニティバスです。ぜひご利用ください。

☎町民課コミュニティ係 ☎985-4228